

ブックスタート推進事業

<日時> <場所>
 7月7日(木) 土崎図書館 2階 研修室
 8月4日(木) <対象>
 午前 10:30~11:30 秋田市在住の0歳児とその保護者
 午後 2:00~3:00

赤ちゃんのためのおはなし会

<日時> <場所>
 7月21日(木) 土崎図書館 2階 研修室
 午前 10:00~10:30 <対象>
 ※8月はお休みです 秋田市在住の0、1歳児とその保護者
 ※参加の際は、事前の申し込みが必要です

大森文庫のご紹介

「土崎図書館友の会」前副会長の故・大森和美氏のご遺族から、今年も図書を寄贈していただきました。学校の授業にも役立つ、日本語に関係する本など全66冊。中でも、ビギナーズ・クラシックスシリーズは原文と現代語訳、詳しい解説がそろっており、古典名作の入門書として最適です。ぜひ、お手にとってご覧ください。

7・8月の行事予定

- 7/7 ブックスタート
- 7/21 おはなし会○
- 7/23, 24 小学生の選書体験
- 7/30 夏休み調べもの講座
- 8/2 夏休み子ども講座
- 8/4 ブックスタート

おはなしの会(第1.3.4土曜)
 おりがみの会(第2土曜)
 対面朗読(火・木)
 ※テレフォンサービスのみ
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、行事予定が変更となる場合があります。

□ 行事のある日 □ 休館日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

待ち焦がれた！土崎港曳山まつり！！

3年ぶりに土崎港曳山まつりが帰ってきます！
 土崎図書館では、港まつりを応援するための資料展示を開催しています。展示コーナーでは、筋力トレーニングや体づくりの本、お客様をおもてなしするためのレシピ、和装の着こなしといった本を展示、貸出しています。(7月18日まで)
 また、2階のギャラリーでは歴代のポスター展示を開催中！あの頃の活気を思い出しながら、久しぶりの曳山まつりに思いを馳せてみませんか。

ポスター展示は7月1日～7月31日までです。(休館日を除く)



土崎図書館は創設120周年を迎えました

土崎図書館は今から120年前、明治35(1902)年6月に南秋田郡立図書館として土崎港町本山町に設立されました。当時、全国の公立図書館はわずか28館。このうち、8つがそろっていた秋田県の図書館事業は草創期から全国トップクラスの充実ぶりだったことがわかります。昭和16年の合併により、名称が秋田市立土崎図書館となって今日に至ります。いつの時代も、図書館に足を運んでくださる地域の皆様に支えられてきました。これからも読書の楽しみを提供できるように努めていきますので、よろしくお願いいたします。

参考：『秋田県教育史 第五巻』

図書館員のつぶやき

夏がくると、水まんじゅうを食べたくなります。子どもが小学生の頃に読んだ富安陽子さんの『キツネ山の夏休み』がきっかけです。本に出てきた水まんじゅうに憧れて、子どもと一緒に和菓子屋さんに行き、真似して食べたことを思い出します。


猛暑の夏が毎年続きますが、熱中症など体調に気をつけ暑い夏を乗り切りたいと思います。(三浦)



土崎図書館だより

令和4年度 第2号 2022年7月発行

リニューアルしました！
 かぞくぶっくぱっく

6月から、かぞくぶっくぱっくの内容が新しくなりました。「5冊は多くて読み切れない…」という声にお応えして、「わかば」「あおば」コースに  3冊ぱっくが新登場！

今回もいろいろなテーマがそろっています。お気に入りのものを探して、新しい本との出会いを楽しんでみては？

- めばえコース
- 「せいかつ」「よるになったら…」「たいせつなきみ」など
- ふたばコース
- 「小さな〇〇」「トラ・トラ・トラ！」「はたらくくるま」など
- わかばコース
- 「3分間」「屋敷のひみつ」など
- あおばコース
- 「マイ・ファミリー」「地球と宇宙のステキな関係」など
- おとなコース
- 「集え！シャーロックアン！」「絶景かな、絶景かな！」など

～交通規制のお知らせ～

7月20日、21日は土崎港曳山まつりが行われるため、車両の通行規制がありますので、ご来館の際はご注意ください。

秋田市立土崎図書館(きららとしょかん)
 〒011-0946 秋田市土崎港中央六丁目16-30
 Tel 845-0572 Fax 845-9912
 市立図書館ホームページ
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>



新しく入った本の紹介

(担当:加賀屋)

会社に人生を振り回されない
武器としての労働法

佐々木 亮／著
KADOKAWA
366.14 サ



社会での働き方は多様化しています。雇用形態の違いで、起こるトラブルも様々。自分に原因がなくてもある日突然巻き込まれてしまうことも…。残業手当やハラスメント、解雇の問題など、弁護士である著者が難しい言葉を避け、わかりやすい用語で解説してくれる1冊です。

人生が変わる
紙片づけ！

石阪 京子／著
ダイヤモンド社
597.5 イ



ペーパーレスの時代ですが、クーポンやレシート、健康診断の結果など、意外と家の中には紙がたくさん。当書では、残しておくもの、データ化してから捨てるものなど色々な紙の片づけ方を教えてくれます。“とりあえず取っておこう”のワナから抜け出すチャンス！

砂嵐に星屑

一穂 ミチ／著
幻冬社
F 伊林ミ



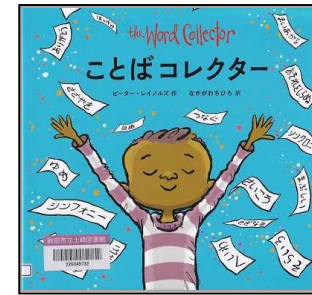
社内不倫をしていた40代独身女性アナウンサーや向上心ゼロの30代非正規の男性ADなど、世代も性別も異なる真面目で不器用な4人が主人公の物語。みんなそれぞれ辛いことを抱えて生きているけれど、ちょっとだけ頑張ってみようかなと思わせてくれる連作短編集です。

新しく入った子どもの本

(担当:佐藤)

ことばコレクター

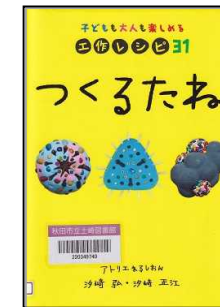
ピーター・レイノルズ／作
なががわ ちひろ／訳
ほるぷ出版
E レ (低学年から)



何かを集める人のことを「コレクター」といいます。ジェロームが集めているのは、「ことば」。いろいろなことばをスクラップブックに貼ってたくさん集めていましたが、転んだ拍子に全部ばらばらになってしまいました。でもそのとき、面白いことを思いついたのです。

子どもも大人も楽しめる工作レシピ31
つくるたね

アトリエまるしおん
汐崎 弘・汐崎 正江／著
ごま書房新社
75 (低学年から)



自然の素材を使ってすぐに始められるものや、時間をかけてじっくりつくるものなど、31個の工作レシピを紹介している本です。工作で使うアイテムや言葉も丁寧に説明されています。おうちで、お外で、一人で、みんなで楽しんでつくってみよう！

一撃をねえ！

あさだ りん／作
酒井 以／絵
金の星社
91 ア (中学年から)



奈央と同じ委員会になったのは、いつもぼんやりしていてやる気のない楽くん。ナマケモノみたいだと思っていたけれど、ある日風に飛ばされたテスト用紙を、楽くんが石垣をどんどのぼって取ってきてくれたのです。びっくりしている奈央を、楽くんはある場所に案内します。

おすすめ BOOK リスト

今回のテーマ 宮沢賢治の世界 (担当:近藤)

今回は大人の方にも読んでほしい童話作家・詩人の宮沢賢治に関する本をご紹介します。おすすめの童話とともに数ある宮沢賢治の研究書のなかから、読みやすそうなものを選びました。作品の背景、成り立ちを知ることにより一層その世界を楽しめることがあります。賢治作品がお好きな方は今一度、読まれたことがない方はまずは一篇の物語から、宮沢賢治の世界をのぞいてみてください。

賢治童話 F ミ
宮沢 賢治／著 翔泳社

『注文の多い料理店』など一度は聞いたことがあるような作品から、初めて耳にするような作品まで、童話が65篇も収録されています。短編が多いので目次を見て気になるタイトルから楽しんでみてください。子どもの頃に読んだ時以上に楽しめるかも。

銀河鉄道の父 F カドイヨ
門井 慶喜／著 講談社

本書では父・政次郎からの視点で賢治が語られます。そこには、詩人・童話作家の彼ではなく、時に冗談を言って妹を可愛がり、時に金の無心をして親に心配をかける平凡な青年の姿が…。子煩悩な父の愛情と、苦悩を通して描かれた宮沢賢治に出会う1冊。

宮沢賢治フィールドノート 910
林 由紀夫／著 集英社

こちらは作品の舞台に着目し、岩手山や小岩井農場など実在する場所を写真と絵地図で紹介。背比べをするどんぐりや山猫、座敷童などが姿を現しそうなノスタルジックな写真に、幻想的な世界へと引き込まれます。

画本 風の又三郎 91 ミ
宮沢 賢治／原作 藤城 清治／影絵 講談社
私のなかの宮沢賢治の絵のイメージといえば、藤城清治の影絵ですが皆さんはいかがでしょうか。影絵と言われると白黒の世界を想像されると思いますが、本書では岩手の爽やかな風が感じられそうなほど色鮮やかな絵と童話をお楽しみいただけます。

賢治と鉱物 文系のための鉱物学入門 910
加藤 碩一 青木 正博／著 工作舎

賢治は「石こ賢さん」と呼ばれていたほどの鉱物好き。彼は作品にも色とりどりの鉱物を登場させていました。夜のように真っ黒な黒曜石で出来た鉄道地図、水晶のお宮…本書では作中、登場する鉱物に注目し、美しい写真とともにそれらを詳しく解説します。きらめく鉱物を通して物語の世界を紐解いてみましょう。